

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	急性骨髄炎・化膿性関節炎の内服治療の観察研究
当院の研究責任者	小児感染症科 石井 翔
他研究機関および 各施設の研究責任者	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 荒木 孝太郎 長野県立こども病院 村井 健美 静岡県立こども病院 荘司 貴代 沖縄県立中部病院 荒木 かほる 大阪母子医療センター 谷口 公啓 兵庫県立尼崎総合医療センター 伊藤 雄介 群馬県立小児医療センター 清水 彰彦 あいち小児保健医療総合センター 伊藤 健太 聖マリアンナ医科大学小児科 中村 幸嗣 新潟市民病院 山中 崇之 宮城県立こども病院 桜井 博毅 茨城県立こども病院 石井 翔 荘内病院小児科 佐藤 聖子 兵庫県立こども病院 水野 真介 国立成育医療研究センター 松井 俊大 千葉県こども病院 草野 泰造 東京都立小児総合医療センター 宮下 晶 （研究代表者）
本研究の目的	こどもの急性骨髄炎・化膿性関節炎では、国際的なガイドラインなどに準じて短期間静注療法と経口抗菌薬治療を組み合わせる方法があります。この方法は点滴治療や入院期間を短くすることができ、患者さんの負担を減らすことができます。短期間静注療法と長期間の静注療法を比較し、実際に治療成績に差がないかどうかを確認します。
該当期間・対象者	2022 年 4 月から 2026 年 3 月の間に対象医療機関に入院したもので、選択基準を満たすもの。 1) 発熱、局所症状、画像所見で単一部位の急性骨髄炎、化膿性関節炎と診

	断された、または、急性骨髄炎と化膿性関節炎と診断されたもの 2) 年齢が生後 1 カ月以上 19 歳未満のもの 3) 初期治療への治療反応性*を治療開始**後 5 日以内に認めたもの 4) 菌血症の合併例は、治療開始**後 2 日を超えて陽性とならないもの 5) 血液、関節液、膿などから起因微生物が同定されて感受性が判明しているもの 6) 薬内服または経管注入が可能で、薬剤が消化管から吸収できるもの
研究の方法	多施設による後方視的・前方視的観察研究
他機関への情報提供	あらかじめ指定された臨床情報を収集し他機関に送付します。性別・体重・発症日などの患者情報が含まれますが、個人が特定する情報は送付されませんので、他施設などで患者様個人が特定される可能性はありません。
個人情報の取り扱い	あり。氏名・住所など特定の個人を識別する情報は取り扱いません。
利益相反	本研究に関する利益相反はありません。
問い合わせ先	茨城県立こども病院 小児感染症科 石井 翔 029-254-1151 (代表)
備考	